

**花壇ボランティア**



雑草をとり、丁寧に土を  
 花植えの作業が  
 終わった皆さん

白山宮神社通りと旧品川道の交差する所に花がきれいに植わっているのをご存じでしょうか？  
 これは布五・六丁目に住むグリーンフラワー友愛会（代表・斉藤キワさん）が春秋の年2回ボランティア活動として植栽し

二人の子どもの応援に

布田小地区ハッピータウン協議会  
 会長 依田 耕児

**新型運動会**  
 5月29日雨の心配は無い曇り空で、カンカン照りを避けたい運動会日和。昨年はコロナ禍で中止となった布田小運動会が、例年とは少し形を変えて実施された。  
 まず気づいたのは校庭にあった張り紙。そこには「保護者の皆様！」と、全ての保護者が我が子の晴れ姿をしっかりと写真に収められるようにと、トラックレーンに近いエリアを「今のレースで走る生徒の

保護者が、自分の子どもが走る時だけ入ることが出来る場所」と記されていた。運動会を見に来た保護者にも密を出来るだけ避けてもらおうとの配慮だろう。  
 8時半に始まった運動会、全校生徒が運動場に集合したのは開会式だけ。入学したばかりの1年生を中央に、各学年全員が並んで校長先生の話を聞き、児童代表が開会のことばを元気に言っている姿は例年の運動会と変わらぬ、一瞬コロナ禍のことも忘れる平穏な気持ちに包まれた。  
 本番プログラムは校庭

地区協で寄贈した緑色のテントも活躍  
 熱射病を避けるためにテント内で待機  
 密を避ける呼びかけをする係の六年生児童

内密状態を避け、生徒同士の接触を少なくするために、まず1・2年生が校庭に残って50メートル走とダンスの演技。6年生は各種の役割で運動会の進行を手伝うが、それ以外の学年は校舎内教室で待機。演技

「良い点と悪い点」という意味で世間ではプロコンとかよく言われます。経験のないコロナ禍中ではやはり経験のない新しい発見がいくつもあります。  
 一つ目。新しい形の布田小での運動会。校庭周囲にテントを張り、児童はそこで待機しながら二学年ずつ交代で校舎から出て競技に参加。暑い日差しを気にすることなくプログラムがスタート&クールに進行。応援にかけつける家族も安心して見学。今まで一日中太陽をもち受けて平然としていたことが信じられないくらいです。  
 二つ目。ズームによるリモートビデオ会議。地区協の運営委員会は通常、平日の夜七時からの開催でしたが、夜遅くわざわざ出かけなくても自宅と同じような意見交換が可能な会議ができるので、特に女性に大変好評。アプリのほうも少しづつ進化して使いやすくなってきました。  
 先が見えない不安な状況がまだまだ続きますが、皆さんが愛するこの地域の願いや希望がそこに住む全員の未来への光となるよう、当地区協へのご理解とご協力のほどをよろしくお願ひ申し上げます。

**コロナ禍でも消えない地域の灯り**

**街の写真館**



ショウビタキ（すずめ目ツグミ科）  
 古天神公園・2021/2 長谷川克正

**漢検サポーター募集**

布田小では世界に誇ることで出来る漢字文化に興味を持ってもらえるよう任意の日本語漢字検定の実施を今年度中に予定しています。つきましては、申し

**布田小漢検サポーター募集の説明会**  
 9月8日（水）  
 ①10:30～11:30  
 ②15:30～16:30  
 布田小南棟  
 地域学校協働本部  
 （理科室裏）



込みや試験官などのお手伝いをいただけるボランティアの方の募集をしています。詳細につきましては、右記QRコードをご参照ください。

**急募 通学見守りアテンド**

下記★印の地点で朝7時45分～8時15分の30分間通学の見守りをしてくれる通学見守りアテンドのボランティアの方を1名募集しています。お近くの当地区協運営委員、または布田小・石津副校長までお知らせください。



**運営委員募集中!**  
 ★年6回の運営委員会  
 ★防災教育の日 避難所訓練  
 ★地域の安全安心活動  
 お近くの上記運営委員にお尋ねください  
 布田小地区ハッピータウン協議会  
 ホームページ  
<https://happy-usako.jp>  
 スマホ対応で見やすくなりました

**ハッピーW講座**

地区協は地域の安心安全の柱の一つとして高齢者への見守り意識を高めようという目的で、①みまもりさん養成と②認知症サポーター養成の2つの講座を1

**ハッピーシニアW講座**  
 1度に2つをW受講 + フレイル予防運動 体験  
 9月18日（土）  
 13:30～16:00  
 心の健康支援センター2階  
 （布田5-46-1）  
 ①「みまもりさん」養成講座  
 ②認知症サポーター養成講座



**新運営委員**



染地かもめ自治会 会長  
**中村 京子 さん**  
 （なかむら きょうこ）

今年自治会長になりました。私も富士見台小・調布三中出身です。子どもは布田小でお世話になりました。地域のために少しでもお手伝いできればと思っています。好きな言葉「努力」。



布田小PTA 会長  
**今利 由季 さん**  
 （いまり ゆき）

私も布田小の卒業で、布田地区に愛着があり親子共々地域の皆様の善意と優しさに支えられています。地区協活動を通じてPTAとして子どものために出来ることを模索していきます。好きな言葉「おもしろきこともなき世をおもしろくすみなしものは心なりけり（高杉晋作）」。



心の健康支援センター  
**高橋 志延 さん**  
 （たかはし のぶ）

今年度より現在の職場に移動してきました。市内勤務が6年目ですが、地域にはとても思いのある方が多いという印象を受けました。これから皆さまと思いを同じくして取り組んでいきます。好きな言葉「日進月歩」。

**はっぴーなきずな**

児童館のプレイルームでラインテープを剥がしていたところ、子どもが数人寄ってきて「私もする!」とテープ剥がしが一時ブームになりました。子どもにとっての「遊び」はいろんなものがあるんだと感じる今日この頃です。（塚越利香）  
 仕事でどれだけ疲れても、家に帰れば二人の娘（1歳と5歳）が笑顔で出迎えてくれる、その瞬間のために毎日頑張っています。今日よりも明日、今月よりも来月、今年よりも来年が少しでも穏やかで楽しいことを願って！（小嶋泰之）

# 日本伝統芸能 尺八演奏家・作編曲家



【本人WEBサイトからの写真】

コロナ禍で演奏会も思うようにできませんが、11月14日(日)「調布三曲演奏会」くすのきホールが予定されています。

## 地域の活躍びと

これまでは比較的年齢の高い方々の紹介でしたが、今回は20代の若さでコロナ禍をもろとみせず、尺八を手に音楽を中心に幅広い活躍をされている風間禅寿さん。

風間さんのオフィシャルサイトをのぞくと布田小4年生の時に尺八を始めたとの文章があり、大人でさえ馴染みが深いとは思えない邦楽に接することになったきっかけからまずお尋ねした。すると多摩川七丁目を中心とする桜丘睦会の会長でもある門傳良男(もんでんよしお)さんが今も続けている、布田小の伝統文化親子教室がそのきっかけだったという話になり、あまりにも地域の話題にぴったりの展開に驚きながらお聞きした。「その親子教室の参加者を募集したところ、お箏(こと)は女子が10人ほど集まったのに、門傳さんが教える尺八には一人の応募も無かったんです。当時PTA活動していた母から、もし良かったらやってみたら、と勧められたのが今にして思えば人生の最初の分岐点でした。」

## 風間 禅寿 さん

(かざま ぜんじ) 24歳

～布田5丁目在住～



Zenji Kazama Official site



スンは継続して、高校受験では都内でも数少ない箏曲(そうきょく)部がある狛江高校を目指すために塾通いをされたとか。

狛江高校では渡辺泰子・正子さん親子という先生にお箏を習ったことで、音楽をなりわいとする選択肢を意識するようになった。更に、その一年後には門傳さんが、KOBUDO・古武道やスパー歌舞伎で有名な藤原道山氏に弟子入りされたので、第一線で活躍している一流の尺八演奏家と接することとなり、東京藝術大学(藝

# コロナ禍でも消えない地域の灯り

## EZY ランチパック



約百ヶの袋に分ける作業



コロナで自治会館が使用できないので外で配布

## サッカー 五輪代表



特大の応援横断幕



設置してくれた市のオリパラ職員のみなさん

ています。市の所有地で、前はツツジがうわつていてその丈が長いことからゴミが多く捨てられていて、ニチニチ草やパンジーを植えることにしてからそういうことがなくなりました。夏は少し大変で朝晩二回交代で水やりが必要ですが、きれいな花がかわいいので町の美観のためにもがんばっていますとのことでした。(写真左から篠崎ナミさん、宮本たへ子さん、斉藤静江さん、斉藤キワさん、永谷谷子さん、小谷律子さん)

来ていた小林こずえさんと間瀬ひとみさんは、「とにかく運動会が実施できて良かった。3つのグループに分けたことで密も避けられたし、保護者席も空いているので近くから見やすかった。ただ、感染の不安から、騎馬戦や大玉転がしがなくなり、やはり子どもたちにも我慢をさせてしまったのが残念です。先生方や保護者も全員で、手をつないでタタロチカを踊りたかったなあ」と話してくれました。(取材・藤田秀雄)

## Happy Walk



歩きながら危険な場所を確認中



狭い路地裏をチェック



布田小PTA 校外部とのコラボ

東京五輪男子サッカーチームに布田小卒(2008年度)の相馬勇紀(そまゆうき)選手が選ばれました。それを記念して布田小外壁フェンスに特大の応援横断幕が登場。試合の流れを変えることのできるチームの中心的存在です。活躍が楽しみです。ちなみに今号の地域の活躍人で紹介した風間くんも布田小の同級生だそうです。

7月3日(土)、昨年はコロナの影響で中止した「まちづくりハッピーウォーク」。布田小PTA校外部が学校周辺の危険箇所を事前にまとめてくれた地図を片手に、石津副校長、市の協働推進課、当地区協運営委員あわせて13名が参加。宅地開発が進み人や車の往来の変化に注意を払い、課題や改善点を確認話し合った。それらをまとめた要望書は地区協ウェブサイトに掲載してありますのでご参照ください。

6月8日(火)布田小五・六年生併せて百五十人が、斉藤農園(代表・斉藤修太郎さん)で午前中二回に分かれて約一万七千苗の田植えを行いました。手伝いに来ていた保護者の一人渡辺真理さんは、「私も布田小に通っている時にここ同じ場所でも田植えをした。今日は子どもと一緒にできるのを楽しみにして来た、本当に懐かしい原風景です。」と話してくれました。その他、元農園の会、稲作ボランティアの方々も応援にかけつけていました。

## 田植え



苗の植え方を説明する斉藤さん



一列に並んで一斉に

まるでどこかの放送局の番組を見ているかのようなお話し。

尺八は音が安定するまでに大人でも何年もかかるほど難しい楽器で、小学生の間は風間さんともな音は出なかったそう。でも負けず嫌いの性格から、音を出したい、音が出るまでと続けられたのは、心のどこかに合点があるものがあつたのではないかと、これは筆者の個人的感想。三中には邦楽の部活が無かったため美術部に入ったが、門傳さんの個人レッ

大)受験が当面の目標となった。高校後半の二年間は道山師のお稽古を含め、邦楽・楽典などの勉強に明け暮れたそう。その努力は3次試験まである藝大入試に現役一発合格で報われる。

藝大での授業は本物の邦楽を追究する意味で、古典作品を中心に置かれており、古典でなくては学べない奏法や楽想を身に付けることができたが、同時に沢山の人のなごみ易い形で音楽を伝えたいという気持ちで沸き上がり、今でもそれは風間さんの活動の重要な要素になっているそうだ。二〇一七年に調布よさこい祭りに「よさこい舞輝夜」という作品を委嘱・演奏され、またテレビ朝日の番組『題名のない音楽会』に出演されたのも、この方向性に沿った音楽活動なのだ。

学生生活での一番の思い出は、三年生の時の藝祭で風間さん自身が企画し脚本を書いて、日本舞踊とコラボした作品を上演したこと。この時、最前列で鑑賞されていたお客様が、涙を流しながら聞いてくれたことが、自分の想いをしっかりと相手に伝えられたと実感した瞬間だった。

風間さんの尺八の師、門傳さんと藤原道山氏からは「地域を大切にしたい」と言われています。「これからもその教えを守りつつ、音楽のみならず色々な活動を通して、ポジティブなパワーを沢山のみなさんに伝えて行くことが夢です」と爽やかな声とまなざしで締めくくってくれた。高校生の一時期、声優になるうかと考えたこともあるというエピソードもその澄んだ優しい声から納得だった。(文・藤田秀雄)